

# 協働通信

今回は、市内において「都留水みず探検隊」など水を切り口とした様々な活動をされている盛里地域在住の賀川(かがわ)一枝さんにお話を伺いました。「都留水みず探検隊」では、市内10カ所の河川での水質調査を年2回、地域住民の方々と行っています。



■東京都出身の賀川さんですが、都留の魅力に惹かれ、9年前に都留に移り住みました。

◆「都留水みず探検隊」の活動のきっかけをお教えください。

ミツカン水の文化センターが発行する機関誌『水の文化』の編集長として全国各地を取材していた頃に、東京農工大学の先生にお話を伺う機会がありました。先生は「地元の水をきれいにしたい」という主婦の方や学生と協力しながら、河川の水質調査を始め、それがきっかけで市民ボランティアによる水質調査が全国的に広まり、その動きは10年以上続いています。そういった取材をしているうち

▽都留市まちづくり市民活動支援センター  
都留市中央3-8-1  
都留市まちづくり交流センター  
(旧文化会館)1階  
▽開館  
火～日(祝日除)  
8:30～17:15  
▽問い合わせ先  
mail: shien@city.tsuru.yamanashi.jp  
☎(43)1321  
FAX(43)1322

に、自分も都留をフィールドに実践したくなったのがきっかけです。

◆都留の水の印象はいかがでしょう。

都留には豊富な湧水があり、味も美味しく、本当に恵まれていますよね。ただ、生活排水が水路に流されています。水質調査をしていることも現状です。水質調査をしていると、数値として汚れているというデータが出る箇所は少ないのですが、それは富士山の湧水がたくさん流れてくるので汚れが薄まっているだけなんです。

◆今後、賀川さんどのような活動がしたいとお考えですか。

未来を担う若い世代に水質保全の大切さを感じてもらえるような活動をしていきたいと思っています。小学生と一緒に水路を歩き、ゴミが捨てられている現状を知ってもらい、これからの生活について考えることもいいですね。

また、「川にゴミを捨てないで」「汚さないで」というネガティブキャンペーンに力を入れていくよりも、例えば、地域の皆さんの興味のある水掛け菜を切り口に、都留の水について考えてもらうなど、そういったポジティブに楽しんでいることから水質保全に関心を持ってもらえるような取り組みをしていきたいと思っています。

第1回都留・水掛け菜サミット開催！  
1月10日(土)には、賀川さん主催による「第1回都留・水掛け菜サミット」が開催されました。

水掛け菜を生産している都留、富士吉田、御殿場の生産者や在来作物の研究者との意見交換のほか、市内で水掛け菜の栽培や販売を手掛ける都留文科大農業系サークル「和み菜家」による事例発表なども行われました。



■サミットを通じ、水掛け菜を都留の活性化のシンボルとして捉え、どう活かしていくのかを参加者と共有したいとお話する賀川さん。



■サミットのの前には、エクスカージョンとして十日市場地区の水掛け菜の田んぼを参加者と見学しました。

## 地域のお知らせ

谷村地域

夢実現ひろば「懐かしの映画会」

日時 2月25日(水)

13時30分～15時30分

場所 まちづくり交流センター

3階多目的ルーム

定員 30名程度

その他 当初の予定から日時、場所が変更となつておりますのでご注意ください。

問合せ 夢実現ひろば実行委員 吉田

☎(43)2663

まちづくり交流センター

☎(43)1321



■都留文科大サークル「和み菜家」では、十日市場在住の柴崎さん(写真中央)の協力を得ながら、水掛け菜の栽培や販売を行っています。